



▲「ジャンケン光徳ナンバーワン」の種目では会場が熱気に包まれました

10月16日(日)に名和中学校体育館で、光徳地区レクリエーション大会が開かれました。

光徳地区では、地域を元気にしようと、以前行っていた運動会を年齢や体力によらず多くの人が参加しやすいように、順位を争わない競技を中心としたレクリエーション大会にころも替えし、4年ぶりに再開しました。

この日は5種目に総勢150人が参加し、レクリエーションを通して和やかに親睦を深めました。



テメキュラ市訪問記 [2]

今年の夏は、町内中学生5人が米国テメキュラ市を訪問。交流事業の感想文の一部を数回に分けて紹介しています。

ロサンゼルス空港着。行き来する人たちを見てみると、いろいろな国の人たちがいて、社会科で習った「多国籍国家」という意味がわかりました。

交流6日目の市役所では、初めに大山町のプレゼンテーションをしました。各学校のプレゼンの後、最後に東日本大震災について、アメリカが日本に援助した動画を見ました。こう

テメキュラの人とのあたたかい充実した交流

中山中3年 奥田 玲央

いうところで人々の心がつながっているんだなと思います。とてもうれしくなりました。中学校も日本と違い、自分達の教室がなく毎時間移動教室というのが大変だと思いました。また、毎日図書館で共有の教科書も借りないといけないし、遅刻にも厳しいから日本より大変だと思いました。アメリカの子供は、いつもリラクスして楽しんでいると思っただけで、多分勉強と遊びの区別をつけているんだと思います。

どんなことより一番楽しかったのは、やはりホストファミリーのマックとの交流



▶ホストファミリーのマックと

です。国境を越えても通じ合えるものがあるというのは言葉だけだと思っていました。違うということがアメリカへ行つて分かりました。この交流を機に外国へ行つて、自分の課題や目標、夢をみつけたいです。

My Summer Vacation

大山中3年 森田 初実

アメリカに着いたのは昼くらいで、思ったより暑くなくてからつとしていました。

8月1日にシニアセンターへ行き、折り紙やピアノ、ソーラン節を踊りました。折り紙とソーラン節は予定通りにできたけれど、ピアノ演奏のときはベダルの位置が高くて踏めませんでした。でも、奥田玲央さんは普段通りに演奏できていてすごかったです。この日は、日本食を作る日で、小原和貴さんのホストファミリーの家に行つて一緒に作りました。そうめんもお好み焼きも家で1回も練習してないけれど、上手にできて良かったです。

この12日間は、毎日が充実していて楽しい思い出があります。とても貴重な体験ができたし、この思い出は一生の宝物になると思います。たくさんの人と出会って、自分から積極的に行動することや英語力が身に付いたと思うので、これからは普通の学校生活で生かしたいです。



▶ホストファミリーから歓迎を受けて